2023/4/3
東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向（3 月 27 日～3 月 31 日）

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,294.5	1,310.2	1,289.1	1,301.9	+7.6
JPY/KRW	9.9066	9.9648	9.6829	9.7755	▲0.151
KOSPI	2,423.94	2,481.24	2,395.97	2,476.86	+61.90

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は小幅に上昇した。 27 日のドル/ウォンは 1,294.5 にてオープン。金融システムに対する不安が残る中、28 日に FRB バー副議長が米規制当局が「すべての預金」の安全確保にコミットすると述べると安堵感から新興国通貨が買われドル/ウォンは下落した。しかし、その後 29 日には米銀行システムに対する懸念が和らいだことで米株式が堅調推移したことなどからドル買いが優勢になり、ドル/ウォンは上昇し 1,300 ウォン台を突破した。30 日の朝方は米金利の上昇を受けて 、週高値の 1,310.2 をつけるも、韓国株式市場も堅調推移したことや四半期末のウォン買い需要から、再び 1300 ウォン台を割れた。31 日もウォン高が継続し、ドル/ウォンは週安値の 1,289.1 をつけるも、午後にかけては配当金のドル転需要などから 1300 台を回復。結局、ドル/ウォンは先週対比 7.6 ウォン上昇した 1,301.9 ウォンにてクローズ。

今週の見通し

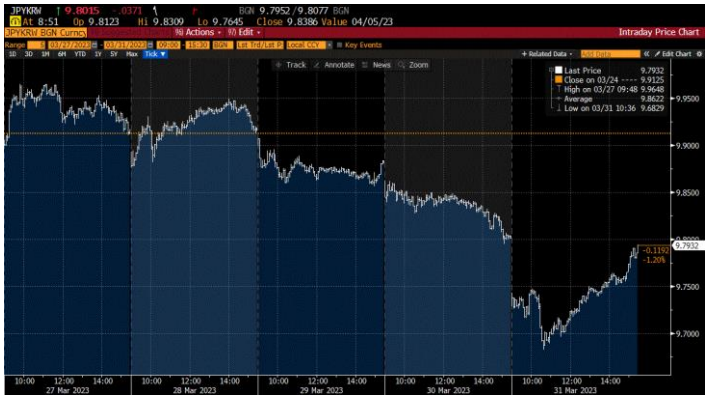
今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想。 足元、金融システムに対する不安は次第に和らいでいる状況で米株式は堅調推移。先週末はインフレ鈍化期待から米金利が低下した。今週も米国ではISM指数や雇用統計など重要指標の発表を控えており、内容により上下する展開も想定されるが、4月は韓国企業による配当金のドル転需要もあり、月初のドル/ウォンは底堅い推移を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1290 ～ 1320	9.70 ～ 10.00	131.0 ～ 134.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)

* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

3日(月) 米 3月 製造業PMI 確報値
欧 3月 製造業PMI 確報値
米 3月 ISM製造業景況指数
日 1Q 日銀短観
4日(火) 米 2月 耐久財受注 確報値
米 2月 製造業受注
韓 3月 CPI
5日(水) 米 3月 サービス業PMI 確報値
欧 3月 サービス業PMI 確報値
米 3月 ISM非製造業景況指数
米 3月 ADP雇用統計
6日(木) 中 3月 総合PMI
中 3月 サービス業PMI
7日(金) 韓 2月 国際収支
米 3月 非農業部門雇用者数
米 3月 失業率

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。